

世界の終わり・あるいは始まり

村上春樹の小説『世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド』に出てくる、「世界の終わり」の、壁に囲まれた「街」とそこに存在する「建築」を設計せよ。

小説は、独創へのドアであり鍵であるに過ぎない。その文学的内容を建築学的に物理空間として再現せよという意味ではない。小説からえられるイメージを、自分なりのイメージに転換して設計するべきである。小説とかけ離れたものになってもかまわない。

「世界の終わり」とは、自分にとっての「世界の始まり」と解釈してもらいたい。

この課題は2回に分けて提出する。

第1提出日 7月2日 13時

提出物 A1図面1枚と模型 当日講評をおこない、模型はもちかえる。
図面は採点のために研究室に置かれる。

内容 「街」の構想を主とする。

第2提出日 7月26日 13時

提出物 A1図面2枚
30日に講評をおこなう。そのときに模型も提出する。

内容 「街」とそこに建つ「建築」を設計する

第2提出の内容を第1提出から変更してもかまわない。両方で採点するが、第2提出物が3分の2、第1提出物が3分の1のウェイトである。

図面内容、表現方法は自由、研究グループをつくって考えてもいいが、作品はすべて個人とする。